土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川　太田川水系　寺山川外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.4	調査位置	測線No.7+14.8	北緯	34° 26' 24.2491"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 1月16日～ 令和3年 1月18日	東経	132° 32' 33.2108"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	DL 217.00m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	4.00m	地盤勾配	50° 鉛直 90° / 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦D1B-58 / エンジン：ヤンマーNS-130 / ポンプ：東洋BP1

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	215.80	1.20		礫混じり砂		暗褐			中～粗砂の砂を主体とする 径5cm以下の礫を20～40%混入する	
2	215.00	2.00		花崗岩		淡灰			DL級岩盤 風化が著しく進行し撹乱すると土砂化する	
3	213.00	4.00		花崗岩		淡灰			DM級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変色している 長石類の白濁化が著しい 径5mm以下の石英・長石粒が残存する部分的に細礫化する	
4										
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50	1.15	12	17	21	50/300	300	
	1.45						
50以上	2.15	35	15		50/120	120	
	2.27		20				
50以上	3.05	40	10		50/110	110	
	3.16		10				
50以上	4.05	25	25		50/160	160	
	4.21		60				

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				1/16
				1/18